



2020年10月

第304号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 花輪 宗命  
 副会長 山本 英次  
 書記 長谷川あや子  
 会計 小口 多津子  
 直前会長 並木 信一  
 担当主事 中里 敦  
 プリテン 山本 英次・茂木 稔  
 大久保 重子

国際会長 Jacob Kristensen(デンマーク) 主題 価値観、エクステンション、リーダーシップ スローガン「命の川を信じよう」  
 アジア太平洋地域会長 David Lua(シンガポール) 主題:「変化をもたらそう」  
 スローガン:「奮い立たせよう」  
 東日本区理事 板村 哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化を楽しもう」  
 副題:「助け合い、分かち合い」  
 あずさ部部長 御園生 好子(東京サンライズ) 主題:「変わるに挑戦!」  
 クラブ会長 花輪 宗命 主題:「すべてに感謝」

### 10月例会プログラム

#### (Zoom システムによる例会)

(担当: C班 : 並木信、茂木、大久保、山本)  
 日時: 10月10日(土) 18:00~20:30  
 会場: 八王子市北野事務所 2F 大会議室  
 受付: 大久保、山本  
 司会: 並木信一  
 開会点鐘  
 ワイズソング  
 ワイズの信条  
 ゲスト・ビジター紹介  
 卓話: 並木 真 氏 (八王子ワイズ会員)

勤務先: カネコ種苗(株)  
 「種と野菜の話をしよう」

東京YMCA報告 担当主事・中里  
 連絡事項 花輪会長  
 A Happy Birthday 花輪会長  
 スマイル 大久保  
 閉会点鐘 花輪会長  
 終了後  
 聖句朗読・食前感謝 並木(信)  
 会食

花輪会長  
 一同  
 一同  
 花輪会長

### 巻頭言

#### コロナ禍の中でのワイズメン活動について

会長 花輪宗命

2020年は、人類が、改めて感染症の恐怖を思い知った歴史的な年になろうとしています。新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行によって、各国の経済は停滞し、多くの国と地域の住人は、これまでにないレベルの不自由を経験しています。少し大きさに言えば、この感染症は、21世紀の世界を変えつつあるようにも思えます。

今年、創設100周年を迎えたワイズメン活動も、その埠外には置かれていません。新型コロナウイルスの拡散は、ワイズメン活動が目指している、世界の人々が連帯し、支え合う、理想的な世界を次世代に残そうとする試みに、恰も真っ向から棒差す大きな障壁として屹立しているようにも見えます。何時終

#### 先月の例会ポイント (9月)

在籍	13名	切手(国内・海外)	607g
2020.2.~8.月延べ数量			
メン	9名	累計	607g
メイキャップ	1名	現金	0円
出席率	77%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	10,150円
ゲスト	1名		
ビジター	0名	累計	86,773円
ひつじぐも	0名	オークション	0円
		累計	0円

#### 今月の聖句(2020年10月)

父よ、あなたがわたしの内におられ、私がある内にいるように、すべての人を一つにして下さい。彼らも私たちの内にいるようにして下さい。そうすれば、世は、あなたが私をお遣わしになったことを信じるようになります。

(新約聖書・ヨハネによる福音書 17:21 = 聖書協会共同訳)

息するとも見えない未知のウィルスの蔓延に、私達は、息を潜めて縮こまるしかないのでしょうか？

古来、人間社会の繁栄は、感染症と背中合わせて推移してきました。文明を築き上げた社会は、必ずと言って良いほど感染症に襲われ、感染症を潜り抜けることで、新たな社会と文明を築き上げてきました。そして、その文明の最たるものは、世界宗教です。

中東からインドにかかる地域では、ユダヤ教、キリスト教、仏教、ヒンドゥー教などの世界宗教が生まれました。古代から農作に適したこれらの地域では、人口が増え、人口密度が高まりましたが、そこへ隣接する草原地帯で家畜とともに暮らす遊牧民族との接触を通じて疫病が入ってきた結果、免疫力の無い都市の住人は、疫病の大流行に襲われる歴史を繰り返してきました。

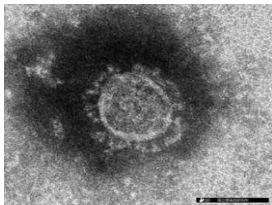
疫病の流行は、人間集団を不安に陥れ、現世への絶望へと追い込んでいきました。この時救いとなっていったのが、普遍性が高く且つ抽象的な宗教でした。特に、ヨーロッパ地域で



は、かつては神と崇められた王や皇帝に代わって、4世紀のキプリアヌスなどのキリスト教のリーダーや、6世紀にカトリックの定着に寄与したベネディクト修道院などのキリスト教集団が、住民の支持と崇敬を集めていきました。

キリスト教集団が、このような働きを果した背景には、未熟ながらも医療の知識や技術をもっていたことかもしれませんが、この世の生きとし生けるものは、お互いに支え合い、助け合う共和的な世界を指向すべきであるとの神の意思に適う叡智が潜んでいたことが指摘できます。

私は、ワイズメン活動の精神的支柱を成すキリスト教のこの叡智は、宗教の壁を超えて人類が共有すべき宝ではないかと思います。私達は、未知のウィルスの脅威に、徒に怯えるばかりでなく、例え小さくとも私たちにでもできるワイズメン活動を続けることで、来るべき世界をこの世の生きとし生けるものが、お互いに支え合い、助け合う共和的な世界にしていこうことに貢献したいものだと思います。



## 「靈氣満山 高尾山」が日本遺産認定

## 久保田貞視

6月19日、「靈氣満山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」が東京都初の日本遺産に認定されました。昔から絹産業を基盤として発展し「桑都」と称せられた八王子、桑都の物語は戦国時代に関東を治めた北条氏の名将北条氏照が八王子に居城を築き、霊山高尾山への人々の祈りがこの地の豊かな文化を紡いでいく物語です。

日本遺産は文化庁が認めた地域の歴史的な魅力や特色を通して日本の文化・伝統を語るストーリーがあるもので日本の文化遺産保護制度です。日本遺産は2015年以降、今回の認定21件を含めこれまで102件が認定され、今年で当面最後としています。

八王子市は2年前より八王子市教育委員会生涯スポーツ部と都市戦略部が中心に高尾山、絹産業、八王子城、滝山城、八王子の文化を繋げるストーリーを作成し、文化庁に申請してところ今回に認定となりました。

ストーリーを構成する市内の有形・無形文化財は29件あり、高尾山関連、八王子城、滝山城、養蚕・絹織物・絹の道関連、車人形、八王子祭り、芸妓、銘酒、小仏関所跡などが含まれています。

八王子市は日本遺産「桑都物語」推進協議会規約を7月30日に策定し、日本遺産を保護・地域の活性化を図るべく推進協議会を立ち上げました。

この日本遺産のストーリーを構成する文化財は私たちににとっては殆ど馴染みのもので、有形文化財は訪ね、無形文化財は鑑賞・観覧することによりこれらの日本遺産を、活用して国内外に発信し、地域の活性化を図ることに積極的に協力したいものです。

かつて3年位前に、高尾山の観光案内所にボランティアで勤務していた時、当時の滝山城址保存会の理事長が来所し、二人で滝山城だけでなく八王子城、高尾山を含めて日本遺産にするよう八王子市に働きかけましようと話していたのが実現して非常に嬉しく思いました。

私たちはワイズで高尾山健康登山を始めて13年、その間、高尾山はミッシュランの三ツ星となり、江戸時代から高尾山が登山道となっていた富士山(高尾山グループで2度登頂)は世界文化遺産となり、今回は日本遺産の認定を受けるなど嬉しくもあり郷土の誇りでもあります。これからもストーリーを構成している有形文化財は必ず訪れ、無形文化財は嗜み、日常生活に潤いを持たせましよう。

## 高尾わくわくヴィレッジ便り

館長 菅野牧夫

今月はわくわくヴィレッジフロントスタッフの紹介をさせていただきます。わくわくヴィレッジの素敵なお話をインタビューしました。

村山達哉(むらやまたつや)事務局長

誰もが「わくわく」するような、自然あふれる施設と豊富な体験プログラム。そしてそれをご予約から当日まで親身になってサポートするスタッフの存在です。

上原充(うへはらみつる)

プログラムと施設が充実していて、いろいろな団体の活動に対応することができる。緑に囲まれた建物は開放感がありスタッフの接客は親切で、ゆったりとした時間を過ごしていただける。

植明美(うゑあけみ)

入口を入ると吹き抜けの明るい広々としたホールがワクワク感を掻き立てます！スタッフの明るい声掛けに微笑む子どもたち。そばで見守る親御さんにも笑顔がこぼれる。他にはどんな楽しい事があるのかな！？そんな想いにお答え出来る所。

佐藤久美(さとくみ)

春には桜、夏には向日葵が咲き、秋には原っぱにトンボが飛び回る。そんな風に自然を感じ、季節の移り変わりを感じられるところですよ。

桃井知子(もいともこ)

私は虫が大の苦手ですがわくわくヴィレッジには沢山の虫が出現します。私には地獄ですが虫が大好きなお友達にはとても素敵な場所だと思います。

中嶋杏里(なかじまあんり)

わくわくヴィレッジには緑豊かな原っぱや館内で出来る楽しいプログラムがたくさんあります！遊んだ後は美味しい食事と温かい大浴場で一日の疲れを癒せます♪

以上6名です。このほかにナイトマネージャー、ナイトパート、パートの皆さんあわせて26名でわくわくヴィレッジを運営しています。こちらにいらした時には声をかけてください。暖かくお迎えます。

## 西東京センター便り・9月

YMCA 西東京 センター長 中里

敦

7月の記録的豪雨で甚大な被害にあった熊本を皆さんは覚えていらっしゃるでしょうか。熊本YMCAではピースポート災害支援センターと協働で特に被害の大きかった球磨村からの要請を受けて、避難所運営を受託しています。当初は県外からのボランティアは受入れをしていませんでしたが、PCR検査を受けるなど感染防止策を取りながら県外からのボランティアを受け入れる承諾を得ました。YMCAでも全国に呼びかけ支援に入り、東京YMCAからも9名のスタッフを派遣する予定です。

そして現在、西東京センタースタッフの郷さんが9月14日から約1ヶ月に渡り支援に入っています。球磨村は約1400世帯のうち490世帯が浸水するなど大きな被害を受けたようですが、メディアではほとんど報道されなくなった現在も道路や橋などの復旧が進んでいない状況を目の当たりにし、支援の必要性を感じたそうです。やはり現地に行かなければ見えないこと、分からないことがあり、五感で感じる大切だと思います。また、最初は被災者の方にどのように声をかけたらいいのか迷ったそうですが、皆さんが明るく声をかけてくれることで、逆に励まされているとも言っています。その言葉に被災者と寄り添うとはどういうことなのか、良い経験になっていると感じます。

復興には長い年月が必要です。ボランティア1人ができることは限られていますが、ボランティアがつながり少しずつでも復興していく姿に被災者は希望を持てることもできます。災害支援はただ支援する、されるというのではなく、互いが寄り添い、心が通じ合う関係が作られていくことだと思います。

YMCAの働きが守られ、少しでも早く復興することを切に願っています。ポジティブネット募金にもご協力よろしくお願ひいたします。

### 今月の聖句によせて (2020年10月)

MCAの正章の中心には開かれた聖書がおかれ、「JOHN 17-21」の箇所が示されています。10月11日はYMCA記念日であり、昨年10月のブリティッシュにも、そして今年も今月の聖句として新約聖書ヨハネによる福音書17章21節を掲載していただきました。

国家、民族、人種、宗教等の隔たりを乗り越えて、全ての人が一つとなり、平和の内に共に生きることでできる世界を生み出すものでありたい、というYMCAのモットーを表す聖句であり、また、ワイズメンズクラブ国際協会が主題聖句とするのも、このヨハネによる福音書の17章21節だからです。

YMCA創立の中心メンバーであったジョージ・ウィリアムズの誕生日が1821年10月11日なので、世界のYMCAは1934年に、この創立者誕生日をもって「YMCA記念日」と決めました。熱い志を持った青年達が、「みんなのものが一つとなる」ことへの熱い祈りをもってロンドンでYMCAを創立したのが1844年6月、ジョージ・ウィリアムズ22歳のときでした。来年にはウィリアムズ生誕200年を迎えます。

世界がコロナウイルスの脅威にさらされ、「マスク」に象徴されるように、非日常と思えることが日常化しつつある今こそ、全ての人が互いを思いやり、一つとなって困難を乗り越えることが求められています。しかし、現実世界は、人種差別の激化、失業者の増大、貧富の格差拡大、人権の抑圧等、分裂、分断が激化し、およそ正反対の方向へのベクトルが強まっているように思えます。

この10月に、YMCA創立の志に思いを馳せつつ、今、この時こそ、YMCAの、そしてワイズメンズクラブの「モットー」、「主題聖句」

## 中大ひつじぐも便り

中大 ひつじぐも 渡辺伊純

続いていた残暑もようやく和らいできました、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

大学の夏季休暇も終わり、秋学期が始まりました。感染予防のためオンライン授業は続いているが、一部で少人数のゼミや語学の授業は担当教員が認めた場合、対面授業も再開し始めました。サークル活動は引き続き対面活動が禁止となっているため、オンライン上での活動が原則となっております。

さて、9月のひつじぐも活動報告をさせていただきます。引き続きオンライン上で月に2回程度定例会、交流会を行っています。定例会では私が環境問題についての勉強会を行いました。今日、海に年間少なくとも800万トンものプラスチックごみが流れこんでおり、この重さはジャンボジェット機5万機分に相当すると言われています。ペットボトルのような比較的大きなプラスチック以外にも、マイクロプラスチックというプラスチックの破片が海には分解されずに残っています。海洋生物による誤飲は生殖機能に影響を与え、発育の阻害が報告されています。勉強会では生態系を維持し、青い海を残していくための解決策を考え、プラスチック容器を使わない地球に優しいケア製品の紹介、マイバッグ、マイボトル等の重要性について考えました。

他にも、2年生が中心となり交流会を行いました。交流会では、Zoom上でゲームを行うなど、対面で会えなくてもオンライン上で繋がり、とても有意義な時間を過ごすことができました。まだ1度も対面で会えていない、新入生のメンバーが気軽に参加できるオンライン交流会を実施することが私達、既存メンバーの役割だと思っています。

10月も授業とサークル活動に励んでいきたいと思います。コロナの収束はまだ見えない状況ではありますが、皆さまくれぐれも感染にお気を付けください。

## 今月の例会報告 9月度

〈報告〉

### 2020年9月第一例会

日時:2020年9月12日(土)18:00~20:00

会場:北野事務所大会議室(担当B班)

出席:久保田・小口・中里・並木信一・並木真・

長谷川・福田・望月・山本

メネット:久保田・並木(信一)

ゲスト:酢屋 以上12名

卓話:「介護の現場で」望月隆珉メン

◇東京YMCA報告

今年はチャリティランではなくウォークとなった。

10月24日~11月1日9日間、チームの平均歩数

◇連絡事項

・チャリティランエントリーの西東京センターに東京武蔵野多摩・東京八王子・東京多摩みなみの三クラブで支援する。

・あずさ部部大会出席予定:花輪・久保田・小口・中里・並木信一・並木真・長谷川・福田・山本

### 2020年9月第二例会

日時:2020年9月26日(土)18:00~20:00

会場:北野事務所小会議室(担当B班)

出席:花輪・久保田・小口・中里・並木信一・並木真・長谷川・福田 以上8名

A 報告

・BULLETIN2020.9.15 が発行された。欠席者には10月例会にて配布

・台湾高雄港クラブより20周年記念例会の映像が送られた。来年アジア太平洋地域大会は高雄港クラブがホスト。

B 協議

・2021-22年度あずさ部体制について。

(部大会は八王子クラブがホスト)

・2021年在京クラブ合同新年会について

…八王子クラブとしては開催を希望する。

C その他

クラブ会長ヒアリング…Change!2022 推進委員会よりヒアリング 回答の要望があり、クラブとしての総意をまとめた。

(今後の予定)

10月第一例会:10月10日(土)18時~20時

北野事務所大会議室(担当C班)

卓話:並木真メンより

あずさ部部大会:10月17日(土)13時~16時

高尾の森わくわくビレッジ 会費:3,000円

10月第二例会:10月24日(土)18時~20時

11月第一例会:11月14日(土)18時~20時

北野事務所大会議室(担当A班)

卓話:中里担当主事より

11月第二例会:11月28日(土)18時~20時

12月クリスマス例会:12月12日(土)17時~ 会場:大学セミナーハウス

## 10月の誕生日

小口 多津子 さん 10月4日

並木 真 さん 10月20日